

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	静岡県立大学看護学部・看護学研究科における国際看護教育と研究環境の構築				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊カツマタ 麻子
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	山下 早苗
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	荒井 孝子
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	竹熊カツマタ 麻子

講演題目	
静岡県立大学看護学部・看護学研究科における国際看護教育と研究環境の構築	
研究の目的、成果及び今後の展望	
<p>目的 本研究の目的は、静岡県立大学看護学部・看護学研究科における国際看護教育と研究環境の構築のために、海外における協定校拡大と海外研修、共同研究の可能性を調査し、考察することである。</p> <p>実施したこと R5年9月6日から9月15日にかけてモンゴル国ドルノゴビ県ドルノゴビ医科大学、モンゴル国医科大学、モンゴル医科大学看護学部、モンゴル国医科大学の教育病院であるモンゴル日本友好病院、トラウマセンター、グリーン病院などの医療機関を訪問した。特に看護・助産学科の教員に対しては、本学の教員が行っている研究について紹介し、意見交換を行った。また同行した看護学科の学生2名もモンゴル国医科大学、ドルノゴビ医科大学の学生達と交流を行った。これらの活動、また学術・教育の活動を実施して大学としてどのようなコラボレーションの機会を提供できるかを分析、評価を行い以下の可能性を提案する。</p> <p>実施可能な事：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ドルノゴビ医科大学と静岡県立大学との学部間協定の締結 2) モンゴル国医科大学看護学部との学部間協定の締結 3) 教育・研究における協力、共同研究の実施 4) 学生間の交流（COILなども含む） <p>成果：今年度達成した成果を示す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和5年9月12日ドルノゴビ医科大学と静岡県立大学との部局間協定の締結 2) 令和5年10月28日 モンゴル国医科大学看護学部との部局間協定の締結 3) 令和5年度は5名の静岡県立大学の学生のモンゴル国訪問、国際看護学研修を行った 4) 令和5年モンゴル国ドルノゴビ医科大学から3名の教員を受け入れ研修を行った 5) 令和6年2月モンゴル国ドルノゴビ県の看護医療職4名を静岡県介護福祉課を通じて研修を受け入れた 6) 令和5年10月のモンゴル国医科大学看護学部において、基礎看護技術の教育デモを本学の教授が日本製の教材を用いながら行い、看護技術の教授法について活発な意見交換を行った。また、研究科の学士課程の学生の授業でも本学の教授がリーダーシップについての講義を行い、看護者が直面している課題について意見を交換した。 <p>今後の展望 モンゴル国との交流今後共同研究へ発展させていくことが期待される。</p>	